ダイアルアップユーザーの必携ツール

Photo : Nakamura Tohru

インターネット加速ユーティリティー購入ガイド

技術革新のおかげで56Kbpsタイプが一般的になったモデムだが、これ以上の高速化は望めない。また、ISDN回線（INSネット64）を利用した場合、64Kbpsまたは128Kbps以上の速度で接続することは不可能だ。

では、モデムやTAを使ったダイアルアップ接続で、今以上に快適な接続環境を期待するのは不可能なのだろうか？もちろんモデムやTAの性能以上の速度で接続できるわけではないが、「インターネット加速ユーティリティー」を使えば、少なくともウェブアクセスは今より快適になる。

ブラウザーに表示されているページを読んでいる間、モデムやTAは動いていない。インターネット加速ユーティリティーは、この空き時間を利用する。バックグラウンドで、表示ページ中のリンクやブックマーク、お気に入りなどに登録されているURLの情報を読み込んで、ハードディスクやメモリーに一時的に保存するのだ。これを「先読み」といい、情報を一時的に保存することを「キャッシュする」という。

ブラウザーはキャッシュされている情報ならば、ほぼ瞬時に表示できる。モデムやTAの利用効率を高めることで、見かけ上のスピードを高める。これが、すべてのインターネット加速ユーティリティーに共通する基本的な仕組みだ。

先読みのしかたはソフトによって異なり、各ソフトはより効果を高めるために、TCP/IPやモデム設定の最適化など、さまざまな工夫をしている。また、中にはオフライン状態でも情報を閲覧できる機能や翻訳機能などを加えているものもある。

イライラ解消！快適ウェブアクセスを実現する

インターネットは接続速度が速ければ速いほど快適だ。とはいえ高速接続環境は、それほどたやすく実現するものではない。そんなとき便利なのが、現在の環境のままウェブアクセスを快適にできる「インターネット加速ユーティリティー」だ。今回は9種類のソフトをピックアップして、その効果を確かめた。

藪 暁彦

バックグラウンド：マルチタスクのシステムでコンピュータが作動しているときにユーザーがメインで動かしているプログラムの背後で稼動、待機している優先順位の低いプログラム。また、メインで動いているプログラムをフォアグランドという。

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

インターネット加速ユーティリティーの実力

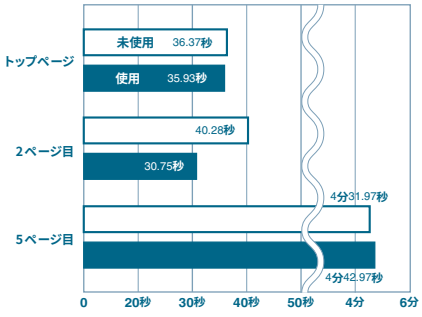
説明書やウェブページを見ると、どのソフトもウェブアクセスが飛躍的に快適になると書いてある。実際はどうなのか？　それを確かめるには、アクセスしたページが完全に表示されるまでの時間を計り、ソフト使用時・未使用時の表示時間を比較するのが一番だ。

どんなに速くなる!?　実証テスト

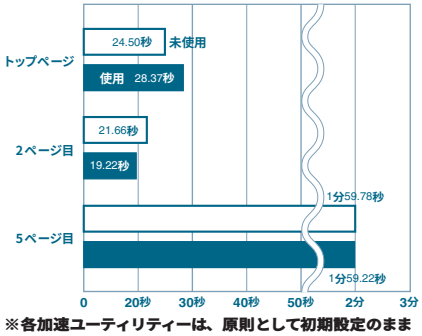
表示時間の測定は、平日の比較的空いた時間帯に行った。測定にはゲートウェイG6-200（Pentium Pro）を使用し、33.6KbpsモデムとTAを使ってインターネットエクスプローラ5で@nifty町田アクセスポイントを経由してインプレスグループのウェブサイトにアクセス。まず、トップページが完全に表示されるまでの時間を計り、1分（ページを読み終える時間）待つ。次にPC Watchのトップページが表示されるまでの時間を計る。さらに1分待ってから「バックナンバー」→「'99年11月」とリンクをたどり、「11月22日（月）のデジカメレポート」が完全に表示される時間を計測した。各製品のグラフは1回目の測定値だが、回数を重ねるごとに明らかに加速した（P275の一覧表を参照）。

[テストページ]

[アナログ33.6Kbps]



[ISDN64Kbps]



※各加速ユーティリティーは、原則として初期設定のまま使用。上のグラフはインターネットハイウェイで測定した。

速さの秘密に迫る！

インターネット加速ユーティリティーの先読みには大きく2つの方式があり、アクセスのしかたがそれに合っているとき、最大の効果を発揮する。モデムやTAの使用効率を高め、快適にウェブアクセスしたいと思ったら、自分に合ったソフトを見つけることが肝心なのだ。

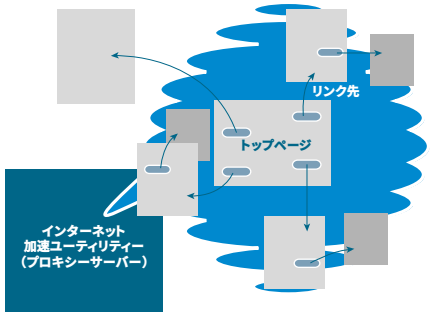
リンク先読み型　ここでは、ブラウザーに表示されているページのリンクを先読みする方式を指す。

ブックマーク先読み型　ネットスケープナビゲーターのブックマークやインターネットエクスプローラのお気に入り、あるいはソフトに登録されたURLを先読みする方式を指す。

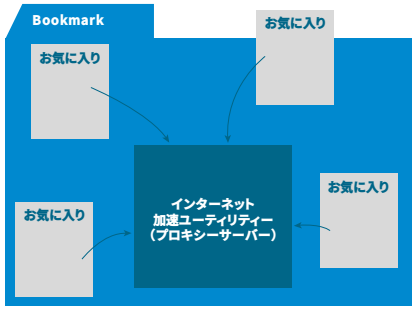
インターネット加速ユーティリティーの先読みは、2つの方式に分類できる。ブラウザーに表示されているページのリンクを先読みする方式と、ネットスケープナビゲーター（NN）のブックマークやインターネットエクスプローラ（IE）のお気に入りやインターネット加速ユーティリティーに登録されたURLの情報を先読みする方式の2つだ。インターネットマガジンでは、この2つの方式を、それぞれ「リンク先読み型」、「ブックマーク先読み型」と呼ぶことにする。

一方、ユーザーがウェブにアクセスする方法も、2つのタイプがある。1つは特定のウェブサイトやページを起点にして、そこから別のウェブサイトやページを見ていくタイプだ。結論から言えば、このタイプにはリンク先読み型のソフトが向いている。もう1つは、特に起点を設けず、毎回、決まったサイトを巡回するタイプだ。こちらはブックマーク先読み型のソフトがより大きな効果を発揮する。アクセスのしかたに合わせて、先読み方法を使い分けよう。

[リンク先読み型]



[ブックマーク先読み型]



©1994-2007 Impress R&D

リンク先読み型

・ニュースなどリンクをたどって見る人向き
・サーチエンジンなどの検索結果を順番に見る人向き
・ポータルサイトからウェブアクセスを始める人向き

A 表示ページのリンクを先読み

基本のリンク先読み機能の中には、インターネットハイウェイのように先読みをするページを固定できるものや、スピードMAXのように選択したリンクだけを先読みするものがある。また、凄速98などのように、表示ページのリンクを先読みする「前進型」と、元になるページと表示ページの両方のリンクを先読みする「往復型」とを切り替えられるツールもある。

リンクの先読みはページをじっくり読むときに効果的で、飛ばし読みするようなときには効果が出にくい場合もあるので注意したい。

B 先読み対象ファイルの指定

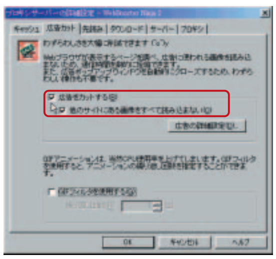
すべてのファイルを先読みすれば、先読みが完了したリンクをクリックしたとき、ページ中の全情報が表示される。だが、そのぶん先読みに時間がかかる。これを避けて先読み効率を上げるため、先読みするファイルの種類を指定できるツールも多い。

今回、取り上げた中では、7本が先読み対象ファイルを指定できる。画像ファイルを先読みから除外するもの、先読みするファイルを拡張子で指定するものなど、設定方法はツールによってさまざまだ。

インターネットハイウェイはツールバーの「GIFカッター」や「JPEGカッター」のアイコンをクリックするだけで、画像ファイルの先読みを除外できる。

C 広告カット機能

ウェブページの中の広告は、GIF画像で作られているものが多い。これを先読みから除外すれば、ダウンロード時間を短縮できる。というわけで、インターネットハイウェイとWebBooster Ninja2の2本は、広告カット機能付きだ。ただし、広告以外の画像ファイルまでカットされたり、広告がカットされなかったりすることもある。



WebBooster Ninja2には、広告カット機能が付いているが、特定の広告を表示するようにも設定できる。

WebBooster Ninja2で広告をカットして、インプレスグループのトップページを表示。広告部分には、画像アイコンが表示されるだけだ。

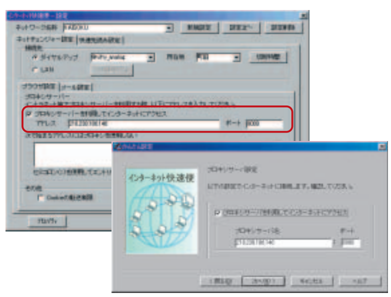
D キーワード先読み機能

表示ページ中のリンクを単純に先読みした場合、一度も表示しないまま終わってしまうリンクも多い。これでは、キャッシュしたデータが無駄になるだけだ。また、先読み効果もそれほど期待できない。リンクの多いニュースサイトなどでは、特にこうした傾向が強く表れがちだ。

この無駄を省き、先読みを効果的に利用しようというのが、ウェブワッカーEXPRESS Ver.3のキーワード指定機能だ。設定ダイアログで特定のキーワードを指定しておくと、そのキーワードを含むリンクが優先的に先読みされるのだ。

E プロキシーの自動設定

社内LANからインターネットに接続する場合、プロキシーサーバーを経由することが多い。通常、この設定はブラウザーで行うが、インターネット加速ユーティリティーを使った場合はツール側で設定する。インターネットハイウェイとインターネット快速便を除く7本では、自動的に設定されるが、ブラウザーによっては手動で設定しなければならないこともある。



インターネット快速便は付属の「かんたん設定」でネットワークの設定を行う。ウィザード形式で進むこのツールを使えば、プロキシーも自動で設定できる。

F 学習機能／AI機能

各インターネット加速ユーティリティーは、先読み効果を高めるために、さまざまな工夫をしている。学習機能／AI機能もその1つだ。

「D：キーワード先読み機能」でも触れたように、単純に先読みした場合には、一度も表示されないリンク先のデータもキャッシュに蓄えられることになる。ユーザーがアクセスしそうなリンク先を予想できれば、キャッシュ利用率を高められる。そこで、アクセスパターンを分析して、キャッシュ利用率を高めようというのだ。

今回取り上げた9本の中では、サーフエクスプレスやWebBooster Ninja2など4本のツールに、アクセスログからユーザーのアクセスパターンを分析してキャッシュ利用率を高める工夫がされている。この機能は、日本語入力プログラム同様、使い込めば使い込むほど、その効果が大きくなる。

学習機能／AI機能を持つ4本。

プロキシーサーバー：社内ネットワークなどからインターネットに接続するとき、内部のセキュリティーを守るために境界に置く代理サーバーのこと。また、ウェブアクセスにおいては、HTMLデータなどをキャッシュし、同様のリクエストに対して蓄積したデータを返すことによって、クライアントのウェブアクセスを高速化できる。

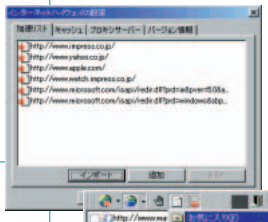
インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D ©1994-2007 Impress R&D

ブックマーク先読み型

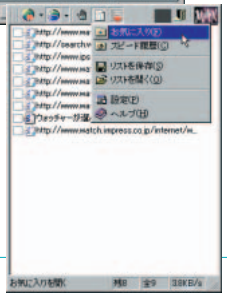
・見に行くページがいつも決まっている人向き
・ブックマークやお気に入りを起点にアクセスする人向き

G ブックマークやお気に入りを先読みする

インターネットハイウェイ、スピードMAXなどの4本は、ネットスケープナビゲーターのブックマークやインターネットエクスプローラのお気に入りに登録したサイトを優先して先読みすることもできる。決まったサイトを巡回するタイプには、この手のツールが向いている。



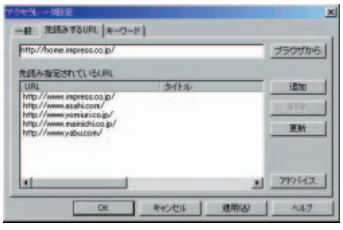
インターネットハイウェイは「加速リスト」に登録されたウェブページが優先して読み込まれる。手動登録のほか、ブックマークやお気に入りからインポートもできる。



スピードMAXはツールバーの「スピードメニュー」から「お気に入り」を選ぶと、ブックマークやお気に入りを先読みリストに加えられる。

H URLを登録する

インターネットハイウェイ、ウェブワッカーEXPRESS Ver.3とInternet Worksの3つのソフトは、ユーザーが登録したURLを自動的に先読みできる。多少の操作が必要だが、スピードMAXも同じような機能を持っている。また、サーフエクスプレスは学習機能によりアクセス頻度の高いURLを先読みすることも可能だ。



ウェブワッカーEXPRESS Ver.3は、登録したURLを起動時に先読みする。登録はURLを入力するか、ブラウザーに表示中のURLを取り込むことで行う。

I キャッシュデータの圧縮

先読みした情報はハードディスクにキャッシュデータとして蓄えられる。ダウンロードしたデータをキャッシュに保存し、ブラウザーに表示するときにそれを読み込む処理は、基本的にはどのインターネット加速ユーティリティーも変わらない。

だが、そこにひと工夫することで、さらに効果を上げているツールもある。サーフエクスプレスと凄速98だ。この2本はキャッシュデータを圧縮し、ハードディスク容量の圧迫を防いでいる。ちなみに凄速98は、キャッシュデータを通常の1/3に圧縮するという。

もっと加速するための機能

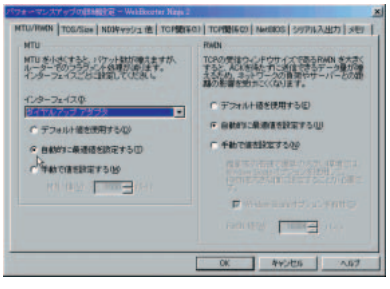
J TCP/IP設定の最適化

インターネットでは、データはパケットと呼ばれる小さな単位に分けて送受信される。このパケットの大きさや一度に受信できるパケットの数を接続環境に合わせて細かく調整すれば、通信時間を短縮できる。

しかし、ウィンドウズ95/98では、それほど細かい調整はできない。WebBooster Ninja2とInternet Worksは、こうした値を調整し、TCP/IP接続の設定を最適化できる機能を持っている。

K ダイヤルアップネットワーク設定の最適化

インターネット接続ウィザードを使えば、ダイヤルアップネットワークの設定も簡単だ。このとき「モデム圧縮」や「ヘッダー圧縮」などの接続条件は、ごく標準的な値に設定される。これをプロバイダーの設定に合わせて最適化すれば、通信時間をさらに短縮できる。Internet Worksの「Modem Wizard」などが、この最適化機能を持っている。方法は簡単で、文字どおりウィザード形式で設定を最適化してくれる。



WebBooster Ninja 2は「パフォーマンスアップの詳細設定」ダイアログでネットワーク最適化の設定をする。

L シリアルポートの高速化

ウィンドウズでは、モデムやTAを接続するシリアルポートの転送速度は、最大115200bpsに設定されている。しかし、実際はそれ以上の速度でデータを転送できるハードウェアも少なくない。

WebBooster Ninja2は、独自のシリアルドライバーを用意し、ハードの性能に合わせて115200bps以上でデータを転送できる。ハードの性能をギリギリまで使い、通信時間を短縮しようというのだ。

M IPアドレスによるダイレクトアクセス

一般的に、インターネットでは接続先の指定にドメイン名が使われる。しかし、実際には、まずDNS（ドメインネームシステム）サーバーにアクセスして、ドメインネームからIPアドレスを検索し、割り出したIPアドレスを使って接続する。

つまり、最初からIPアドレスでアクセスすれば、通信時間を短縮できることになる。この機能を持っているのは、サーフエクスプレスなど3本だ。

Internet Worksは「Modem Wizard」でTCP/IPやモデム/TA設定の最適化を行う。

©1994-2007 Impress R&D

インターネット
加速ユーティリティーラインアップ

インターネット加速ユーティリティーには、ウェブアクセスを加速するだけのシンプルなものから、オフラインブラウズ機能や翻訳機能、セキュリティー機能を備えたものまでさまざまな種類がある。より高い先読み効果を得られるよう、目的に合ったソフトを選択しよう。

アクセスのしかたに合わせて先読み方法を変更できる

リンク先読み型
ブックマーク先読み型

インターネットハイウェイ

インターネットハイウェイは先読みを担当する「IHProxy」と、設定を変更したり先読み状況を表示したりする「コンソール」の2つのプログラムで構成されている。

初期設定のまま使った場合、インターネットハイウェイは、表示ページのリンクを先読みする。新しいページに移るとそのページのリンクを先読みするが、コンソールの「ターゲットページ固定」アイコンをクリックすれば、先読みページの固定もできる。サーチエンジンの検索結果を順番に見ていくときなどに便利な機能だ。

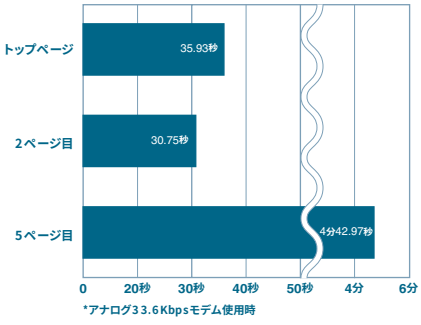
先読み方式をブックマーク先読み型に変えることもできる。「加速リスト」に登録したURLのリンクが、優先して先読みされるようになるのだ。ここには、インターネットエクスプローラのお気に入りやネットスケープナビゲーターのブックマークを読み込める。

また、バナー広告やGIF、JPEG形式の画像をカットする機能も備えている。これを利用すれば、表示時間はさらに短縮される。

先読みオプション

A B C D E F G H I J K L M

標準価格（実売）	：5,000円（4,080円）
メーカー	：（株）メディアカイト
問い合わせ	：03-5449-3181
Jump	www.media-kite.co.jp/product/



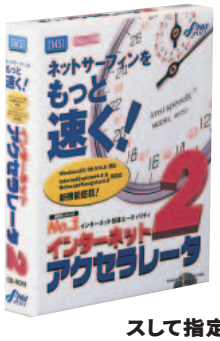
*アナログ33.6Kbpsモデム使用時

先読みしている最中、「コンソール」には回線速度、ヒット率、速度効率が数値で表示される。

ブラウザーのキャッシュを利用するシンプル設計

リンク先読み型

インターネットアクセラレータ2.0



一般的にインターネット加速ユーティリティーは、プロキシーサーバーとして機能する。ウェブサーバーとブラウザーの間に入り、ブラウザーに代わってウェブサーバーにアクセスして指定されたウェブページの情報をダウンロードするのだ。プロキシーサーバーの仕組みをうまく利用しているインターネット加速ユーティリティーだが、ハードディスクの残量を圧迫するという弱点もある。

インターネットアクセラレータ2.0は専用のキャッシュ領域を必要とせず、ブラウザーのキャッシュをそのまま使う。ハードディスクの残量が少ないときに有効なツールだ。機能も非常にシンプルだ。ブラウザーに表示されているページのリンクが先読みされる。CGIやASPなどのスクリプトは、初期設定では先読みされないが、拡張子を登録すれば先読みも可能だ。またニュースなど、短時間で書き換えられるページの先読みをオン／オフすることもできる。

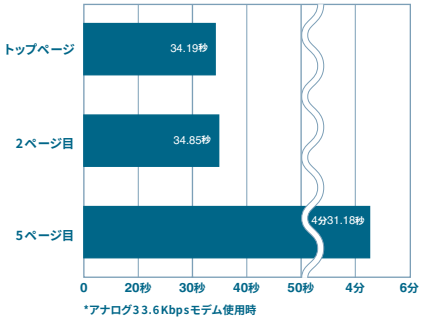
先読みオプション

A B C D E* F G H I J K L M

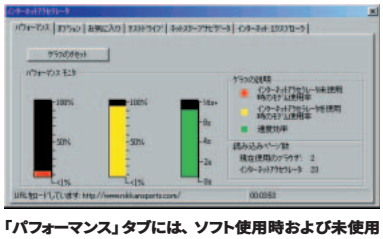
*インターネットエクスプローラはプロキシーが自動設定されるが、ネットスケープナビゲーターは手動での設定が必要

CD-ROM収録先：
[B] Trial→Win→Ia2trial

標準価格（実売）	：5,800円（4,350円）
メーカー	：住友金属システム開発（株）
問い合わせ	：03-5476-9825
Jump	www.smisoft.ssd.co.jp/product/



*アナログ33.6Kbpsモデム使用時



「パフォーマンス」タブには、ソフト使用時および未使用時のモデム使用率と速度効率がグラフ表示される。

Product Showcase

バナー広告：「バナー」のもともとの意味は「横断幕」。ホームページ上に表示される、横長の四角形に収まるように作られた広告・宣伝用の画像のことを指す。ロゴや動画を見て興味をひかれた人々がアクセスしやすいように、リンクを張っていることが多く、ウェブ上における宣伝の手段として広く使われている。

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2009 Impress R&D

独自のキャッシュ技術と表示パターンの分析で先読み強化　ブックマーク先読み型

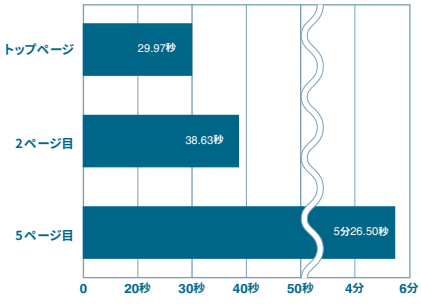
サーフエクスプレス Ver.1.5 日本語版

CD-ROM収録先：
[B] Trial→Win→Surfexp（Win版）
[B] Trial→Mac→SurfExpress（Mac版）

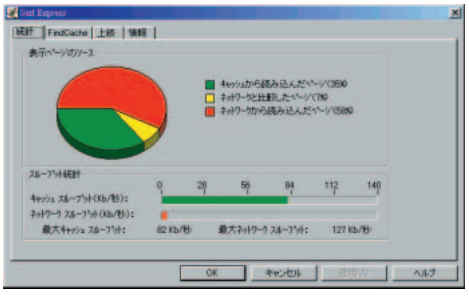
標準価格（実売）	：6,800円（5,780円）
メーカー	：（株）メディアヴィジョン
問い合わせ	：03-3263-0630
URL	www.mvi.co.jp/products/connectix/surfexp/

サーフエクスプレスは独自開発の「Smart Fetch」技術を使ってユーザーのアクセス傾向を分析し、表示される可能性の高いリンクを先読みする。単純な先読みでは、一度も表示されることのないページまでダウンロードしてしまうため、ディスク容量を無駄に使うことになる。SmartFetchはこれを防ぎ、ネットワークのアクセス効率を高められる。同時に、アクセス頻度の高いページのヒット率が高まる効果も持っている。9本の中で、リンクを先読みしないのはこの1本だけ。特に定期的に決まったウェブサイトにアクセスするとき、大きな効果を期待できそうだ。

キャッシュにも独自技術が使われている。「FASTore」と呼ばれるこの技術は、キャッシュ効率を高める効果があり、圧縮により同じスペースに通常のブラウザーに比べてより多くのデータを短時間で保存できる。ユニークなのがキャッシュデータを検索する「FindCache」機能だ。検索には、ANDとORを使って複数のキーワードを指定できる。



*アナログ33.6Kbpsモデム使用時



「統計」タブには、表示されているページ情報の読み込み先（ネットワーク、キャッシュ）が円グラフで、キャッシュやネットワークのスループットが棒グラフで表示される。

先読みオプション

A B C D **E** F **G** H I J K L **M**

ウェブページだけでなくメール中に書かれたURLも先読みできる　リンク先読み型　ブックマーク先読み型

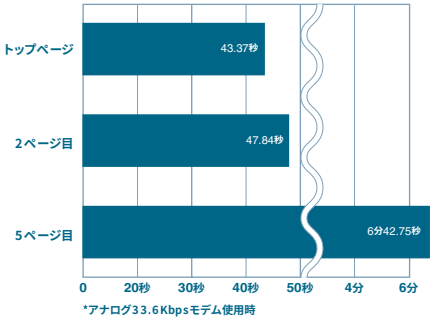
インターネット快速便

標準価格（実売）	：6,800円（5,780円）
メーカー	：シャープ（株）
問い合わせ	：06-6794-8021（西日本相談室） 043-299-8021（東日本相談室）
URL	ns3.sharp.co.jp/sc/gaiyou/news/990611.html

インターネット快速便は加速ユーティリティーの「快速先読み」と、自宅、会社、外出先など複数のネットワーク設定をワンタッチで切り替えられる「ネットチェンジャー」の2つの機能を持っている。

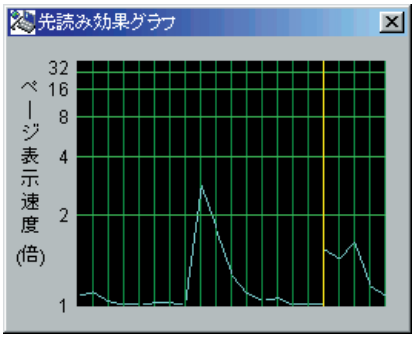
先読み機能は、基本的にはリンク先読み型だ。しかし、メニューから選択するだけでネットスケープナビゲーターのブックマークやインターネットエクスプローラのお気に入りをブラウザーに表示でき、結果的にブックマーク先読み型の機能を持たせている。先読みする際に、特定の文字列を含むページを先読みしないようにも設定でき、これを使えば画像の削除もできるが、設定方法が少々難しい。

ブラウザーに表示されているページは、ハードディスクに保存することもできる。また、ブラウザーに表示されたページのリンクだけでなく、メールの中に書かれたURLの先読みも可能だ。ほかのツールにはない、ユニークな機能といえるだろう。



*アナログ33.6Kbpsモデム使用時

タスクトレイの「インターネット快速便」アイコンを右クリックして、メニューから「先読み効果グラフ」を選択すると、先読み効果が折れ線グラフで表示される。



先読みオプション

A B C D *E F **G** H I J K L M

*「かんたん設定」を使えば、プロキシーサーバーを自動的に設定できる

ヒット率：検索などで発見したデータの比率または、ウェブページにアクセスした頻度のこと。ここでは、頻繁にアクセスするページをいかに高い確率で見つけられるかといった意味で使っている。

インターネットマガジン/株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

アクセスパターンに合わせて前進型／往復型先読みを選択　リンク先読み型

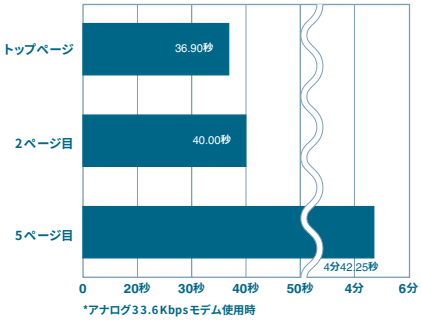
凄速98

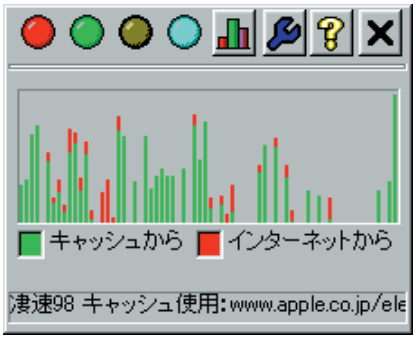
標準価格（実売）：8,800円（5,380円）
メーカー：ソースネクスト（株）
問い合わせ：03-5350-4844
www.sourcenext.co.jp/products/seisoku98/seiii.html

凄速98はリンク先読み型だが、アクセスパターンに合わせて、「前進型」と「往復型」の2つの方式を切り替えられる。常にブラウザーに表示されているページのリンクを先読みする前進型は、次々と新しいページを見るときに適した方式だ。一方、往復型は、サーチエンジンの検索結果やリンク集を見るのに向いている。こちらは、起点になるページと表示されているページの両方のリンクを先読みする。また、クッキーが設定されているページのみ、先読みしないようにも設定できる。

キャッシュも工夫されている。設定容量いっぱいになるまでブラウザーに表示されなかったキャッシュデータは削除され、残ったデータは1/3に圧縮されるのだ。こうすることで、ハードディスクの圧迫を防げる。

なお、ブックマークの先読みもできる「凄速2000」は3月に発売される予定（無償アップグレード付き「凄速98」は1月21日発売）。





凄速98のコントロールパネルには赤、緑、黄色、青の4つのシグナルが表示され、動作状況がひと目でわかる。パネルの下に、表示されたデータの量（ダウンロード、キャッシュ）を示す棒グラフも表示できる。

先読みオプション

A* B C D E F G H I J K L M

* クッキーを含むページの先読みをするかしないか設定できる

CD-ROM収録先：
[B] Trial→Win→Wwex3

キーワードを指定して欲しい情報を確実に先読みする　リンク先読み型　ブックマーク先読み型

ウェブワッカーEXPRESS Ver.3

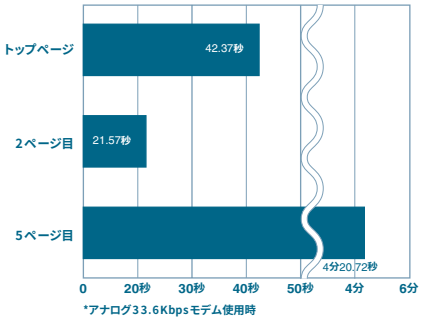
標準価格（実売）：8,800円（6,130円）
メーカー：エー・アイ・ソフト（株）
問い合わせ：03-3376-7122
www.aisoft.co.jp/japanese/products/

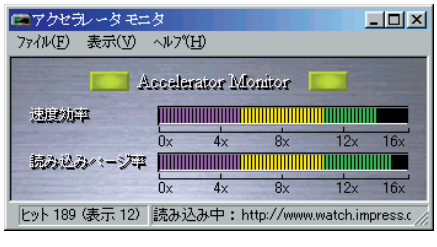
ウェブワッカーEXPRESS Ver.3は先読みとオートパイロット、英日翻訳機能を1つにまとめたインターネット総合ユーティリティーだ。

初期設定では、表示ページの閲覧中にそのページのリンクを先読みするが、ウェブワッカーの起動と同時に先読みを開始させることもできる。凄速98同様、「前進型」と「往復型」の2つの先読みパターンを切り替えることも可能だ。

表示ページ中のリンクだけでなく、指定したURLの先読みもできる。登録はURLを入力するか、ブラウザーに表示されているページからURLを取り込む。また、ウェブサイトの履歴をもとに頻繁にアクセスするページを一覧表示して、その中から選択することもできる。これを「アドバイス機能」という。

便利なのが、指定したキーワードを含むリンクを先読みしてくれる機能だ。この機能はたくさんのリンクが設定されているニュースサイトなどで役に立つ。





「アクセラレータモニタ」を起動すると、先読みによる速度効率と読み込みページ率がグラフ表示される。上段の2つのボタンは、先読み状態を表すインジケーターであると同時に、クリックすると先読みを一時停止できる。

先読みオプション

A B C D E* F G H I J K L M

* ネットスケープナビゲーターで、プロキシーサーバーの設定を「自動プロキシ設定」にしてある場合は、手動で設定し直さなければならない

クッキー：WWWサーバーがブラウザーに対してデータを保存するように要求する仕組み。または保存されたデータ。以前にページを訪れたユーザーを識別するためなどに使われる。JavaScriptでもクッキーを扱える。

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

先読みとシステムの最適化でウェブアクセスを高速化　リンク先読み型

WebBooster Ninja2

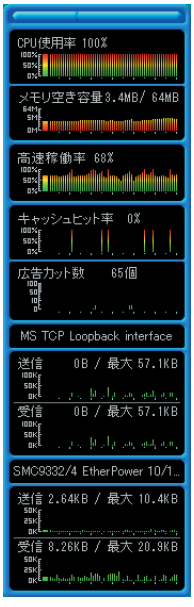
CD-ROM収録先：
[B] Trial→Win→Webboost

標準価格（実売）	：8,800円（6,480円）
メーカー	：（株）アイフォー
問い合わせ	：03-5436-7850
URL	www.ifour.co.jp/lineup/wbninja2/

WebBooster Ninja2はブラウザーに表示されているページのリンクを単純に先読みするだけだ。だが、それに加えて、さまざまな工夫がされている。その1つが先読みをする対象の選択方法だ。履歴から分析したアクセスの傾向とネットワーク状況に応じて、最適な先読み対象を選ぶのだ。バナー広告のカット機能も、表示時間の短縮に効果を発揮する。

GIFアニメーションの繰り返し回数も設定できる。これによってCPUの負担を減らし、ブラウザーやネットワーク処理に十分なパワーを割り当てられる。また、拡張子を設定して、先読みファイルを指定する機能も備えている。

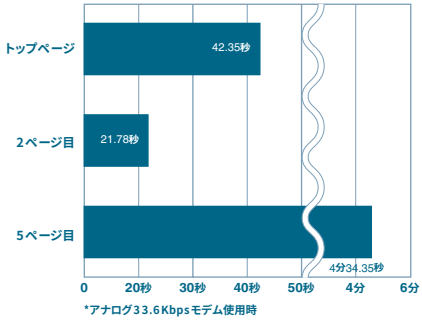
シリアルポートに、専用の高速シリアルドライバーが使われていることも見逃せない。これにより、パソコンとモデム間の転送時間が短縮される。さらにTCP/IPの設定やメモリーを最適化して、ウェブサイトには、IPアドレスで直接アクセスする。それらの相乗効果で、いっそうの高速化が図られている。



メインウィンドウには、CPU使用率、メモリー空き容量、高速稼働率、キャッシュヒット率、送受信速度などが棒グラフで表示される。

先読みオプション

A B C D E F G H I J K L M



先読みデータを操作するブラウザーのコントローラー　リンク先読み型　ブックマーク先読み型

スピードMAX

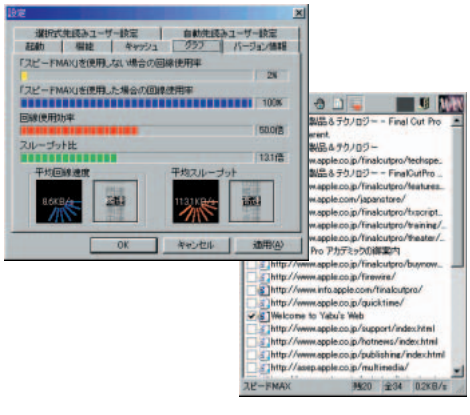
CD-ROM収録先：
[B] Trial→Win→Speedmax

標準価格（実売）	：8,800円（6,600円）
メーカー	：デジタルアーツ（株）
問い合わせ	：03-5485-1330
URL	www.daj.co.jp/products/sp_max.html

スピードMAXを起動しても何も始まらない。まず、ブラウザーで先読みしたいウェブページを表示し、ツールバーの「選択式先読み」または「自動先読み」ボタンをクリックした段階で、初めて先読みが始まる。

自動先読みはブラウザーに表示されているページのリンクを先読みする。これに対して、選択式先読みはスピードMAX独特の方式だ。これを選ぶと、表示ページでクリックしたリンクだけが先読みされる。無駄なデータをキャッシュせずにすむうまいやり方だ。

先読みが始まると、スピードMAXのウィンドウには先読みページが一覧表示される。先読みから画像ファイルを除外したり、先読みする階層を指定したりできる。また、インターネットエクスプローラのお気に入りやネットスケープナビゲーターのブックマークから、必要なサイトだけを選んで先読みさせたり、スピードMAXの履歴から先読みページを選択させたりすることもできる。



「設定」ダイアログの「グラフ」タブをクリックすると、スピードMAX使用/未使用時の回線使用率、回線使用効率、スループット比、平均回線速度、平均スループットがグラフで表示される。右は先読みページを一覧表示するメインウィンドウ。

先読みオプション

A B C D E F G H I J K L M

ドライバー：コンピュータ本体にあらゆる周辺機器を接続するために必要なプログラムの総称。シリアルドライバーのほか、プリンタードライバーなどがあり、これらの周辺機器購入時にフロッピーディスクやCD-ROMで提供される。また、現在はメーカーのホームページで最新版のドライバーを提供していることもある。

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2000 Impress R&D

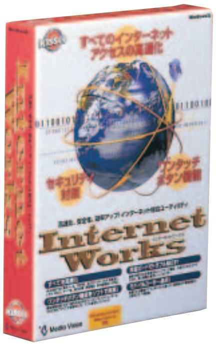
Product Showcase

先読み＋接続設定の最適化でウェブアクセスをスピードアップ

リンク先読み型
ブックマーク先読み型

Internet Works

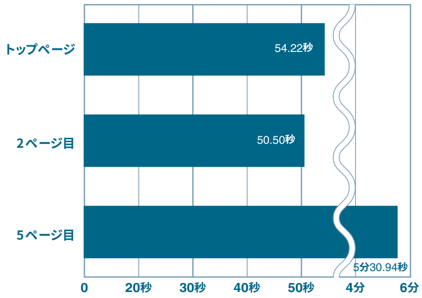
標準価格（実売）	：10,800円（8,680円）
メーカー	：（株）メディアヴィジョン
問い合わせ	：03-3222-6841
Jump	www.mvi.co.jp/products/kissco/inet_works/



Internet Worksは先読みツール「Speed Surfer」、モデムやインターネット接続の最適化とテストを行う「Modem Wizard」、ファンクションキーを利用してアプリケーションを素早く起動させる「ShortCuts」の3つのソフトで構成されている。

Speed Surferはブラウザーに表示されているページのリンクを先読みする際に、学習機能が働いて、次に表示するページを予測してキャッシュ効率を上げる工夫が施されている。それだけではない。頻繁にアクセスされる上位10のサイトと、ユーザーが登録した最大10サイトのリンクを、起動時に先読みする。これを「Fast Sites」機能という。

これに加えて、モデムやTA、TCP/IPの設定を最適化するModem Wizardがいっそうの高速化をもたらしてくれる。さらに、「FastIP」機能を利用すれば、ドメイン名をIPアドレスに変換し、より素早く目的のサイトにアクセスできるようになる。



*アナログ33.6Kbpsモデム使用時

ウィンドウの「状況と効果」タブでは、先読みファイルの状態が色分け表示される。水色はロード終了、青はリンク失敗、黄色はロード中、赤は待機中を表す。右側には節約時間も併せて表示される。

先読みオプション

*先読みファイル指定では、画像を先読みするかしないかを設定できる

ハードディスク高速化ツールと連係

RAMのアクセス速度はハードディスクに比べてきわめて速い。これを利用して、ウィンドウズやアプリケーションの処理速度を上げようというのがRAMディスクだ。RAMディスクを利用したハードディスク加速ユーティリティー「激速2000」を使えば、もちろんウェブアクセスも高速化できる。

さらに、激速2000をインターネット加速ユーティリティーと組み合わせ、このツールのキャッシュ領域をRAMディスクに割り当てれば効果倍増。一段と快適さが増す。また、ブラウザーをRAMディスクから起動すれば、起動時間を短縮することもできる。

[激速2000]

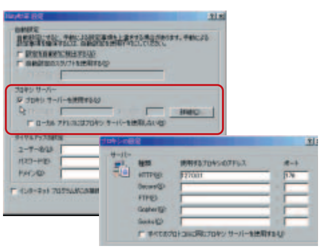
標準価格	：11,800円
メーカー	：（株）SSIトリスター
問い合わせ	：03-3343-5657
Jump	www.ssi-tri.co.jp/products/gekiseries/

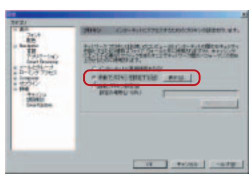
このパネルで、RAMディスクに割り当てるファイルやメモリー容量などを設定する。

プロキシー設定と解除

今回取り上げたインターネット加速ユーティリティーのうち、インターネットアクセラレータ2.0を除く8本は、すべてプロキシーサーバーとして機能する。その設定は自動的に行われるので、通常まったく気にする必要はない。

だが、インターネット加速ユーティリティーを起動せずにブラウザーを起動したり、加速ユーティリティーだけを終了してしまったりすると目的のウェブページにアクセスできなくなることがある。そんなときに備えて、加速ユーティリティーをインストールしたら、プロキシーのアドレスとポート番号をメモし、手動で設定／解除する方法を覚えておくといい。


インターネットエクスプローラ5では、「ツール」-「インターネットオプション」を選び、「接続」タブを開く。「ダイヤルアップの設定」で「設定」を押し、表示されたダイアログで「プロキシサーバーを使用する」にチェックが付いているとインターネット加速ユーティリティーを使ってアクセスしている。チェックを外すとこのツールを使わずダイレクトにアクセスするようになる。プロキシーのアドレスとポート番号は、「詳細」で設定する。


ネットスケープナビゲーター4.7では、「編集」-「設定」で表示されたダイアログ左の「詳細」-「プロキシ」を選ぶ。ダイアログ右の「手動でプロキシを設定する」にチェックが付いているとインターネット加速ユーティリティーを使ってアクセスし、チェックを外すとこのツールを使わずにアクセスするようになる。プロキシーのアドレスとポート番号は、「表示」で設定する。

RAM（ラム／Random Access Memory）：コンピュータの主記憶装置に利用される、自由に読み書きできる記憶装置。読み出し専用はROM（ロム／Read Only Memory）という。また、RAMディスクは、この主記憶装置の一部あるいは外付けのRAMをハードディスクの代わりに利用するソフトやハードの総称。

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

インターネット加速ユーティリティー主要機能一覧表

		インターネットハイウェイ	インターネットアクセラレータ2.0	サーフエクスプレスVer.1.5 日本語版	インターネット快速便	凄速98
メーカー		(株)メディアカイト	住友金属システム開発(株)	(株)メディアヴィジョン	シャープ(株)	ソースネクスト(株)
標準価格		5,000円	5,800円	6,800円	6,800円	8,800円
実勢価格		4,080円	4,350円	5,780円	5,780円	5,380円
問い合わせ		03-5449-3181	03-5476-9825	03-3263-0630	06-6794-8021（西日本相談室） 043-299-8021（東日本相談室）	03-5350-4844
Windows	対応OS	Win95/98/NT SP3以上	Win95/95(OSR2)/98/NT4.0	Win95/98/NT4.0	Win95/98	Win95/98/98SE
	CPU	Pentium160MHz以上	Intel 486以上	Intel 486以上	Pentium133MHz以上	Intel486/Pentium100MHz以上
	メモリー	16MB以上	8MB以上	16MB以上	24MB以上	32MB以上
	〃（推奨）	32MB以上	16MB以上	-	32MB以上	-
	ハードディスク空き容量	10MB以上	5MB以上	12MB以上	30MB以上	5MB以上
Macintosh	対応OS	-	-	Power Mac	-	-
	CPU	-	-	漢字Talk 7.5.5以上 Mac OS 8.5.1対応	-	-
	メモリー	-	-	16MB以上	-	-
	〃（推奨）	-	-	-	-	-
	ハードディスク空き容量	-	-	12MB以上	-	-
動作確認ブラウザー	インターネットエクスプローラ(IE)	4.x/5.x	3.xx/4.xx以上 *1	3.0以上	3.0～5.0	3.0～5.01
	ネットスケープナビゲーター(NN)	4.x	3.xx/4.xx以上	3.0以上	3.0～4.05	3.0～4.05
	ネットスケープコミュニケーター(NC)	4.x	4.xx以上	4.x	4.5	4.05
先読みタイプ		併用型	リンク先読み型	ブックマーク先読み型	併用型	リンク先読み型
表示時間	最初のページ（テスト1回目）	35.93秒	34.19秒	29.97秒	43.37秒	36.90秒
	2ページ目（〃）	30.75秒	34.85秒	38.63秒	47.84秒	40.00秒
	5ページ目（〃）	4分42.97秒	4分31.18秒	5分26.50秒	6分42.75秒	4分42.25秒
	5ページ目（テスト3回目）	27.69秒	26.63秒	16.56秒	51.60秒	22.85秒
	5ページ目（テスト5回目）	27.53秒	24.12秒	12.94秒	48.04秒	25.13秒
先読みオプション	リンク先読み(A)	○	○	×	○	○
	先読み対象ファイルの指定(B)	○(GIF、JPEG形式の画像カット設定)	○	×	○	△(クッキーを含むページの先読み設定)
	広告カット機能(C)	○	×	×	×	×
	キーワード先読み機能(D)	×	×	×	×	×
	プロキシーの自動設定(E)	×	○(NNは手動で設定)	○	△(「かんたん設定」を使う)	○
	学習機能/AI機能(F)	○	×	○	×	×
	ブックマーク先読み(G)	○	×	○	○	×
	URL登録機能(H)	○	×	○	×	×
	キャッシュデータの圧縮(I)	×	-（独自のキャッシュ不要）	○	×	○
	その他	-	登録によりASPやCGIのページも解析して先読み可能	-	メール中のURL先読み機能	先読みパターン切り替え機能（前進型、往復型）
その他の加速機能	TCP/IP設定の最適化(J)	×	×	×	×	×
	ダイヤルアップネットワーク設定の最適化(K)	×	×	×	×	×
	シリアルポートの高速化(L)	×	×	×	×	×
	IPアドレスによるダイレクトアクセス(M)	×	×	○	×	×
	その他	-	-	-	-	-
その他の機能		-	-	キャッシュ検索機能(FindCache)	ネットチェンジャー機能(最大20通りの接続設定切り替え)、ホームページ保存	オフラインブラウズ キャッシュデータ1/3圧縮

		ウェブワッカーEXPRESS Ver.3	WebBooster Ninja 2	スピードMAX	Internet Works
メーカー		エー・アイ・ソフト(株)	(株)アイフォー	デジタルアーツ(株)	(株)メディアヴィジョン
標準価格		8,800円	8,800円	8,800円	10,800円
実勢価格		6,130円	6,480円	6,600円	8,680円
問い合わせ		03-3376-7122	03-5436-7850	03-5485-1330	03-3222-6841
Windows	対応OS	Win95/98/NT4.x	Win95/98/NT4.0	Win95/98/NT4.0	Win95/98/98SE
	CPU	Pentium以上	Pentium90MHz以上	Pentium200MHz以上	Pentium以上推奨
	メモリー	16MB以上	16MB以上	16MB以上	32MB以上
	〃（推奨）	32MB以上	32MB以上	32MB以上	-
	ハードディスク空き容量	70MB以上 （フルインストール：プログラム用は20MB以上）	10MB以上	10MB以上	20MB以上
Macintosh	対応OS	-	-	-	-
	CPU	-	-	-	-
	メモリー	-	-	-	-
	〃（推奨）	-	-	-	-
	ハードディスク空き容量	-	-	-	-
動作確認ブラウザー	インターネットエクスプローラ(IE)	3.x/4.x/5.x	3.0x/4.0x/5.0x	3.x/4.x/5.0	3.x/4.x/5.x
	ネットスケープナビゲーター(NN)	3.x/4.x	2.0x/3.0x/Gold3.0x/4.0x	3.x/4.x	3.x/4.x
	ネットスケープコミュニケーター(NC)	4.x	4.0x/4.5x/4.6x/4.7	4.x	4.x(4.7対応)
先読みタイプ		併用型	リンク先読み型	併用型	併用型
表示時間	最初のページ（テスト1回目）	42.37秒	42.35秒	39.84秒	54.22秒
	2ページ目（〃）	21.57秒	21.78秒	31.18秒	50.50秒
	5ページ目（〃）	4分20.72秒	4分34.35秒	4分19.82秒	5分30.94秒
	5ページ目（テスト3回目）	34.37秒	28.71秒	34.37秒	1分51.63秒
	5ページ目（テスト5回目）	32.93秒	26.88秒	34.16秒	1分37.68秒
先読みオプション	リンク先読み(A)	○	○	○	○
	先読み対象ファイルの指定(B)	×	○	○	○(画像の先読み設定)
	広告カット機能(C)	×	○	×	×
	キーワード先読み機能(D)	○	×	×	×
	プロキシーの自動設定(E)	○ *2	○	○	○
	学習機能/AI機能(F)	×	○	×	○
	ブックマーク先読み(G)	×	×	○	○
	URL登録機能(H)	○	×	○	○
	キャッシュデータの圧縮(I)	×	×	×	×
	その他	先読みパターン切り替え機能(前進型、往復型)	先読みする時間の設定が秒単位	選択式先読み	-
その他の加速機能	TCP/IP設定の最適化(J)	×	○	×	○
	ダイヤルアップネットワーク設定の最適化(K)	×	×	×	○
	シリアルポートの高速化(L)	×	○	×	×
	IPアドレスによるダイレクトアクセス(M)	×	○	×	○
	その他	-	メモリーの最適化	-	-
その他の機能		オートパイロット機能 英日翻訳機能	デザイン変更、広告ポップアップのクローズ ダウンロード再開、分割ダウンロード	ホームページ保存	モデムテスト、アクセス時間のベンチマークテスト(HTTP、FTP)、ダイアルアップ接続設定の修復、Connection Manager(接続方法の登録)、セキュリティー機能、ファンクションキー設定機能

*1 インターネットエクスプローラ5.0には、プログラムアップデートで対応
*2 ネットスケープナビゲーターで「自動プロキシ設定」の場合は手動で設定

©1994-2007 Impress R&D

［インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ］ ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D（株式会社インプレスから分割）が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

http://i.impressRD.jp/bn

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D（当時は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先
株式会社インプレスR&D
All-in-One INTERNET magazine 編集部
im-info@impress.co.jp

Copyright © 1994-2007 Impress R&D, an Impress Group company. All rights reserved.